

気仙沼観光マーケティングレポート(平成30年1月版)

◆今月のトピックス

・最低-8.9℃、平均気温が-0.3℃と例年よりも寒かった1月は、各施設からも寒波の影響を心配する声が寄せられた月となった。
 ・年末年始の里帰りの需要が落ち着いた後も、物販施設・観光施設とも比較的好調に推移している一方で、宿泊客のその他の区分(主にビジネス客)の利用が前年に比べて半減という気になる結果となった。

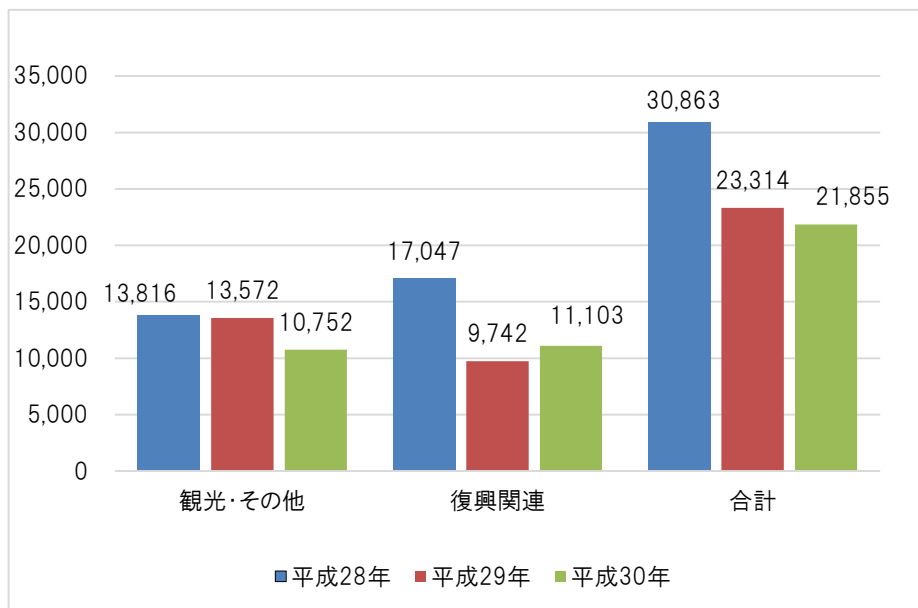
1. 宿泊

(1) 宿泊人数

① 同月前年比

(単位:人)

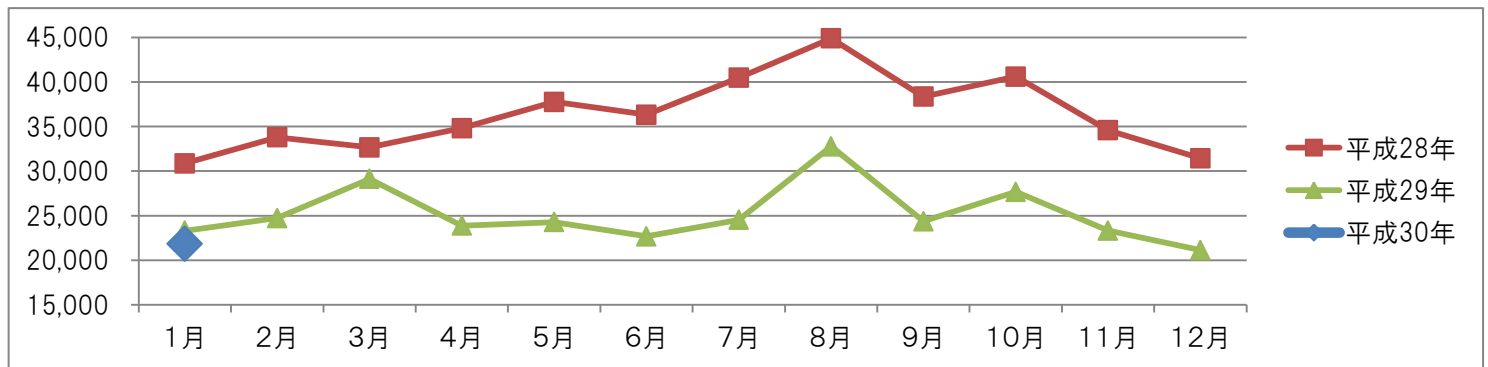
(単位:人)



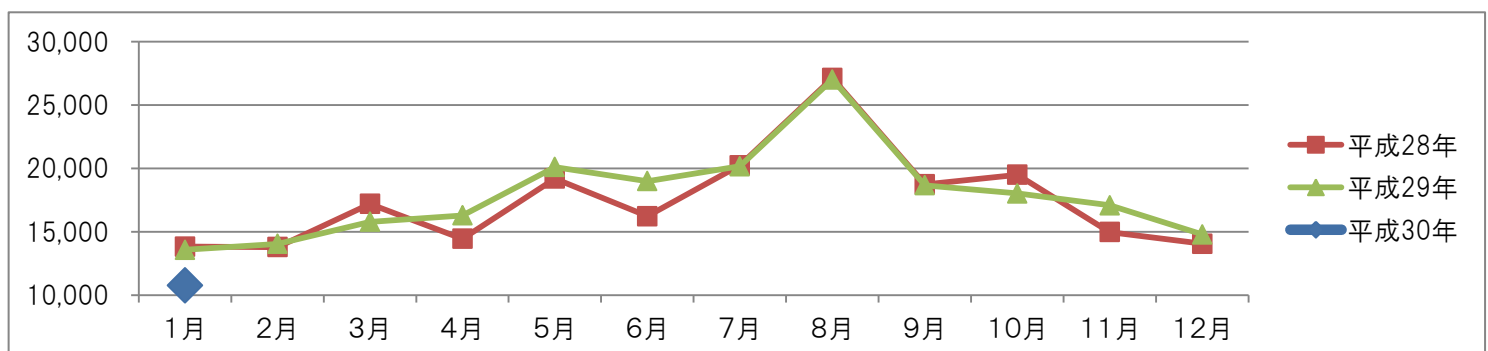
宿泊者	平成28年 (1月)	平成29年 (1月)	平成30年 (1月)
観光	11,194	6,119	6,876
(その他)	2,622	7,453	3,876
復興関連	17,047	9,742	11,103
総計	30,863	23,314	21,855

※平成29年より「その他(主に復興事業以外のビジネス客)」の項目を増やし調査しています。

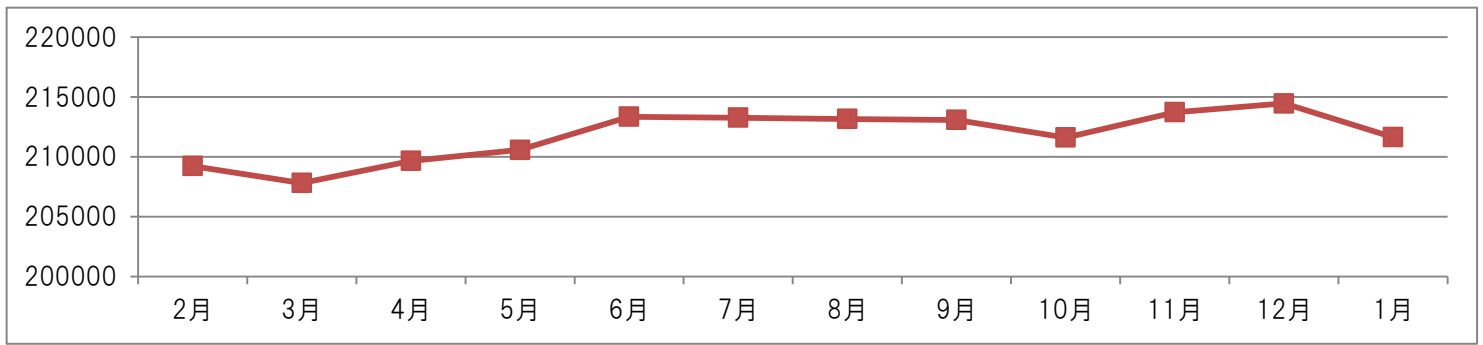
② 年間推移(合計)



③ 年間推移(観光+その他)

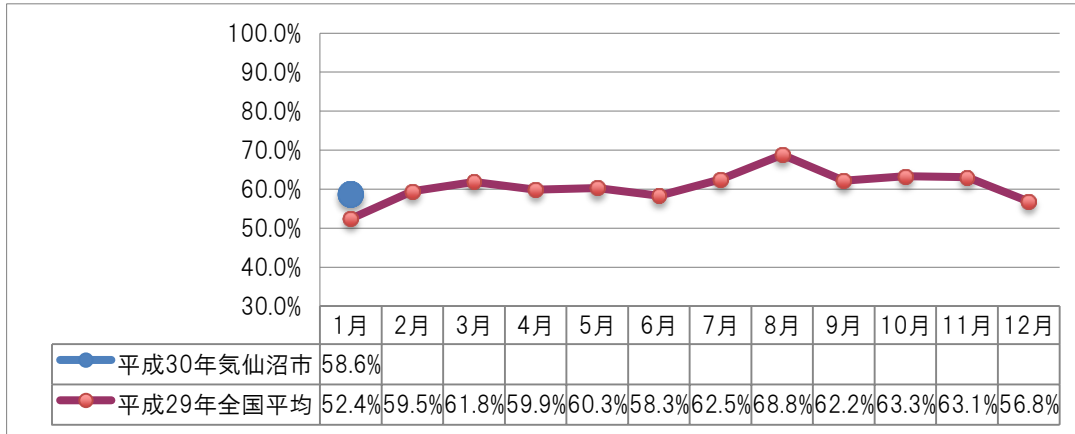


④移動年計(観光+その他)



(2)客室稼働率

《参考データ》



宿泊施設タイプ別 (全国平均)	平成 29 年 (1 月)
旅館	32.2%
リゾートホテル	51.1%
ビジネスホテル	65.6%
シティホテル	68.9%
簡易宿所	20.1%

※平成 29 年全国平均は、観光庁宿泊旅行統計調査(平成 29 年・年間値(速報版))より

・観光宿泊者は昨年より微増。復興関連宿泊者も数字を伸ばしたが、その他の宿泊者が前年比 52%と落ち込んだため、宿泊者数合計も前年より少ない結果となった。

・1 月は正月の里帰り需要、成人式での利用のほか、看護学校入試、センター試験での利用という回答もあった。また「復興工事の繁忙期に入り宿泊需要の拡大の月になった。この需要は 3 月まで続く予想」との回答も寄せられた。

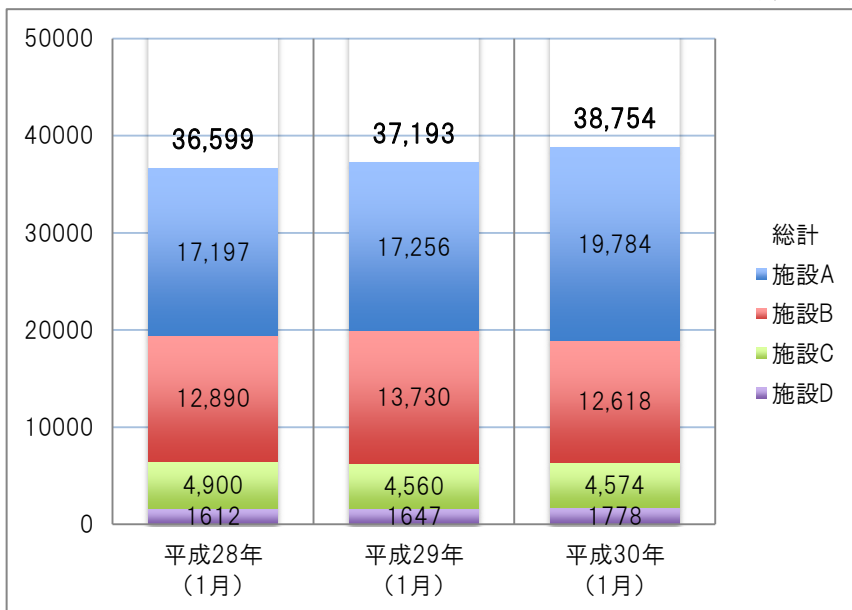
・「大寒波の影響が心配されたが、宿泊のキャンセルはなかった」とのコメントもあった。

2. 物販施設(レジ通過人数)

(1)同月前年比

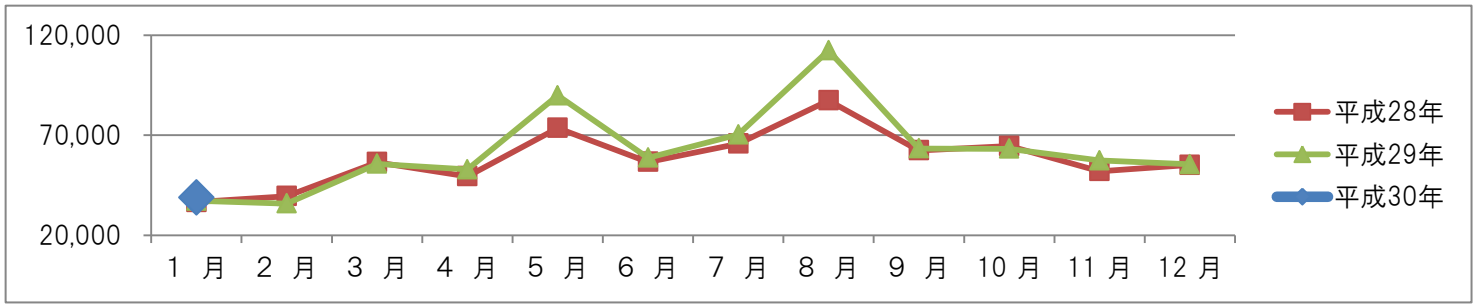
(単位:人)

(単位:人)

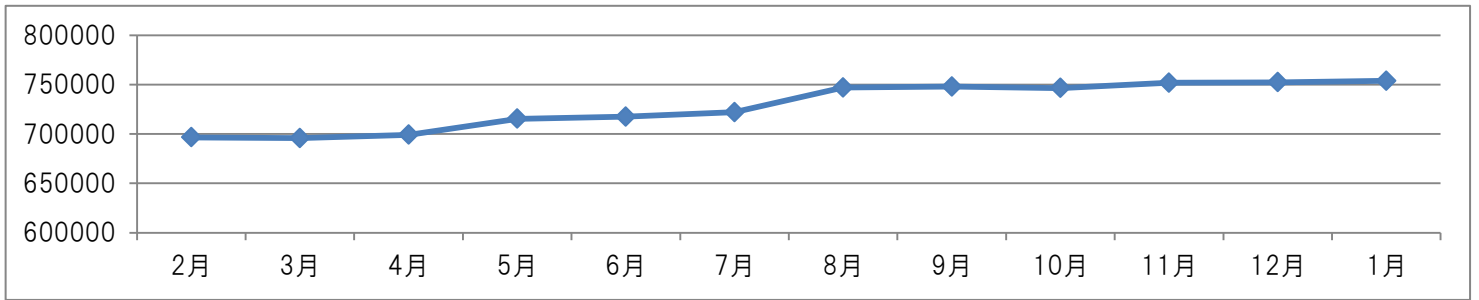


物販施設	平成 28 年 (1 月)	平成 29 年 (1 月)	平成 30 年 (1 月)
施設 A	17,197	17,256	19,784
施設 B	12,890	13,730	12,618
施設 C	4,900	4,560	4,574
施設 D	1,612	1,647	1,778
総計	36,599	37,193	38,754

(2)年間推移



(3)移動年計



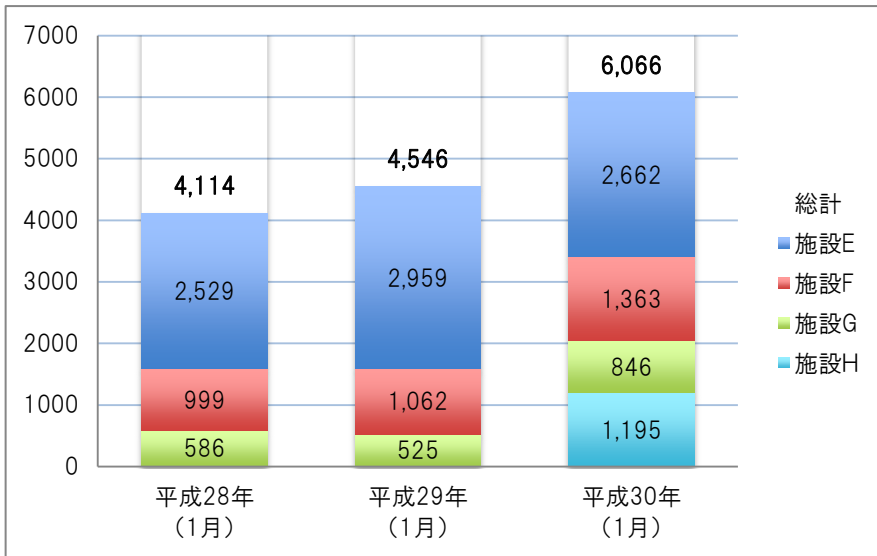
・施設Aの好調(前年比 114%)が続き、販売施設総計の移動年計も緩やかに右肩上がりが続いている。
 ・施設からは「大寒波により客足が減ったと思う」「雪と寒波の影響が心配されたが、昨年並みに推移した」などと、例年に比べ寒かった1月の天候についてのコメントが複数寄せられた。

3. 観光施設(利用人数)

(1)同月前年比

(単位:人)

(単位:人)

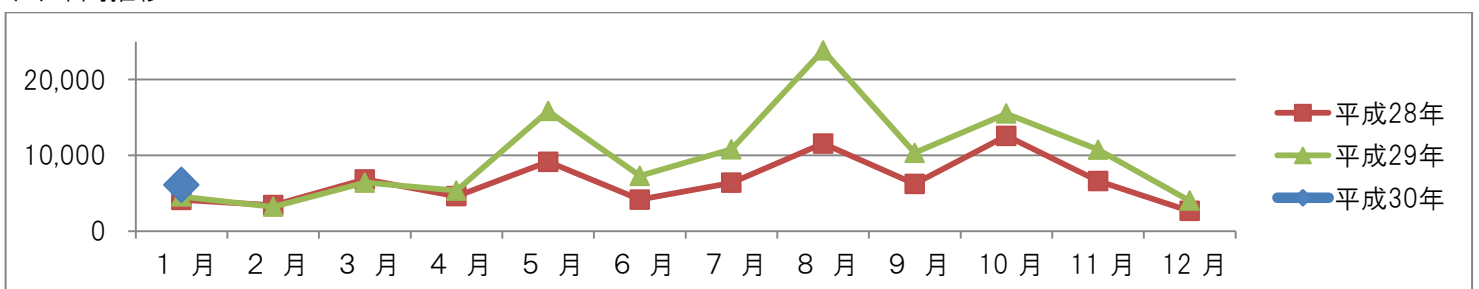


観光施設	平成28年 (1月)	平成29年 (1月)	平成30年 (1月)
施設E	2,529	2,959	2,662
施設F	999	1,062	1,363
施設G	586	525	846
施設H			1,195
総計	4,114	4,546	6,066

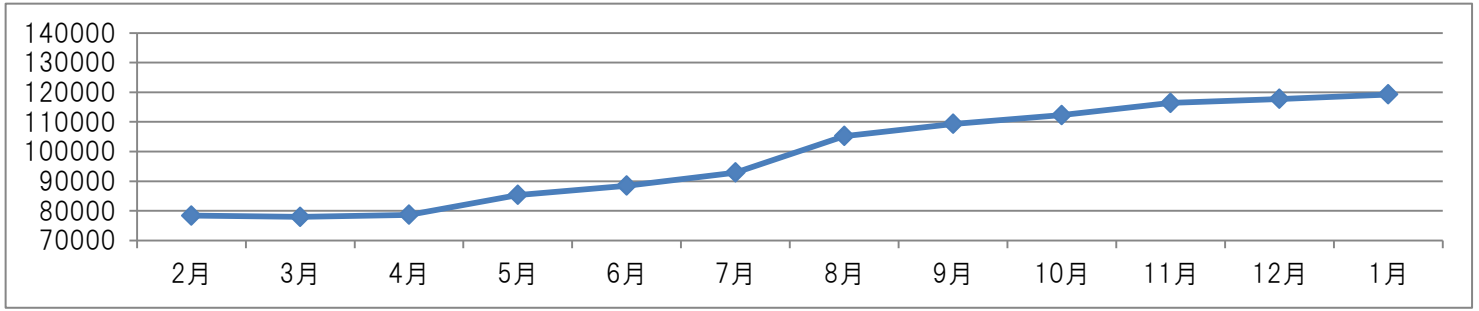
※平成29年5月より施設Hを追加し、調査しています。

(2)年間推移

(単位:人)



(3) 移動年計



※平成29年5月より施設Hを追加し、調査しています。

・全体的に緩やかながら増加傾向にある。5月に追加した施設Hを除いても前年比107%と好調に推移している。

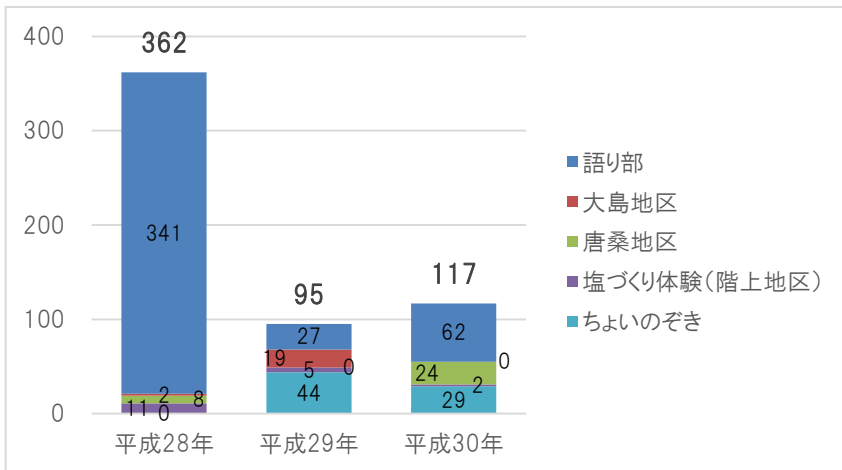
4. アクティビティ体験

(1) 体験人数

① 同月前年比

(単位:人)

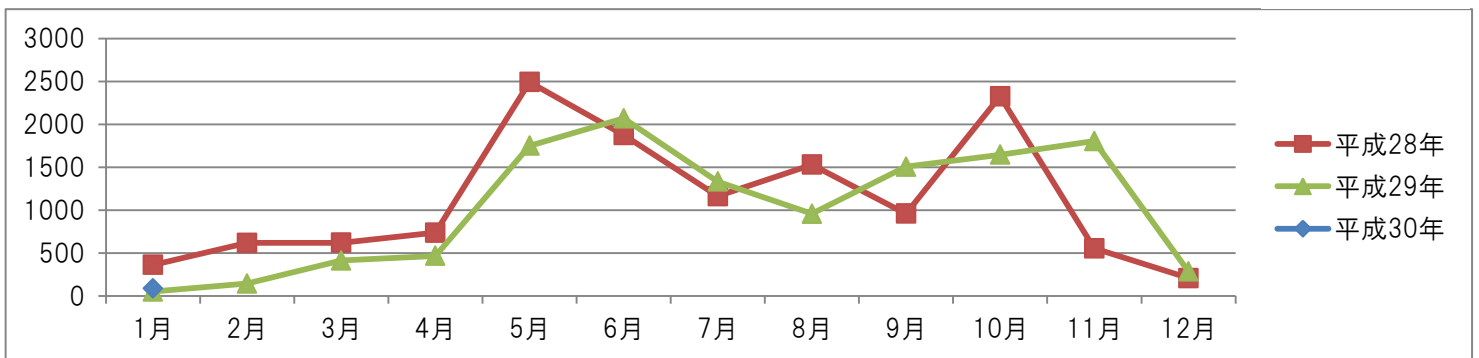
(単位:人)



アクティビティ	平成28年 (1月)	平成29年 (1月)	平成30年 (1月)
語り部	341	27	62
大島地区	2	19	0
唐桑地区	8	0	24
塩づくり体験 (階上地区)	11	5	2
ちよいのぞき	0	44	29
総計	362	95	117

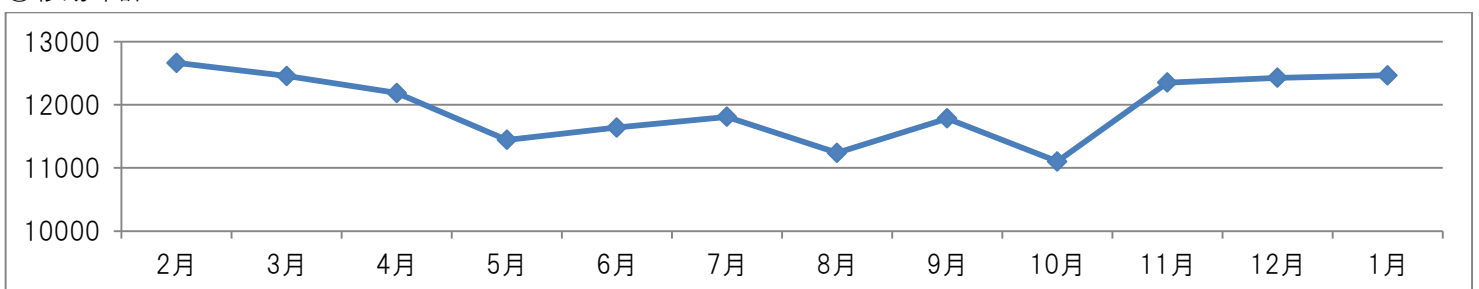
② 年間推移

(単位:人)



③ 移動年計

(単位:人)

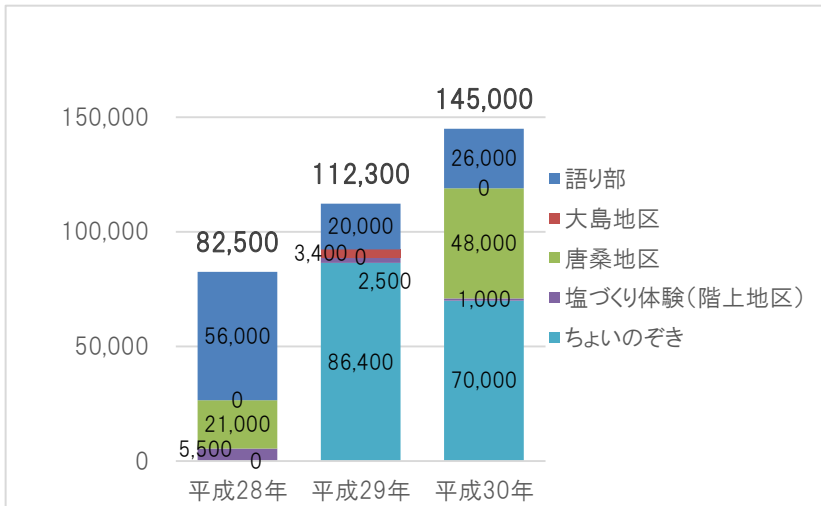


(2) 体験金額

① 同月前年比

(単位:円)

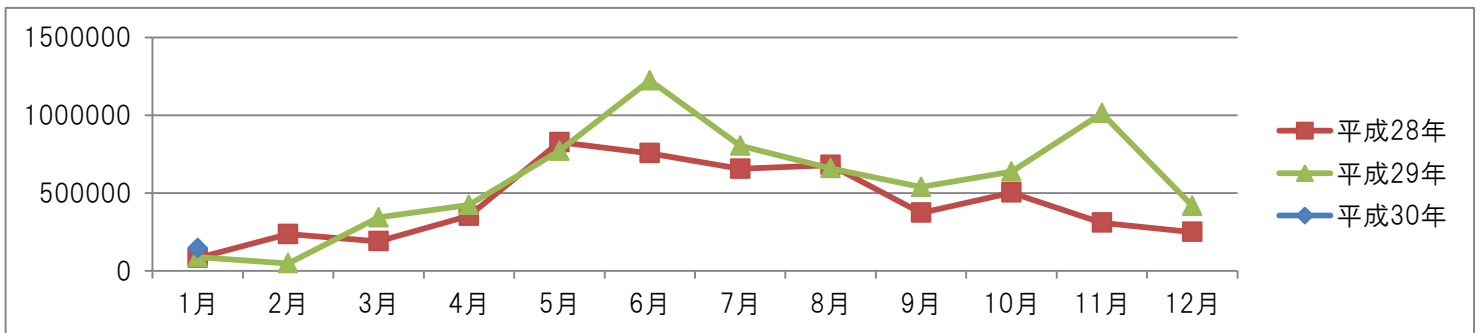
(単位:円)



アクティビティ	平成 28 年 (1月)	平成 29 年 (1月)	平成 30 年 (1月)
語り部	56,000	20,000	26,000
大島地区	0	3,400	0
唐桑地区	21,000	0	48,000
塩づくり体験 (階上地区)	5,500	2,500	1,000
ちよいのぞき	0	86,400	70,000
総計	82,500	112,300	145,000

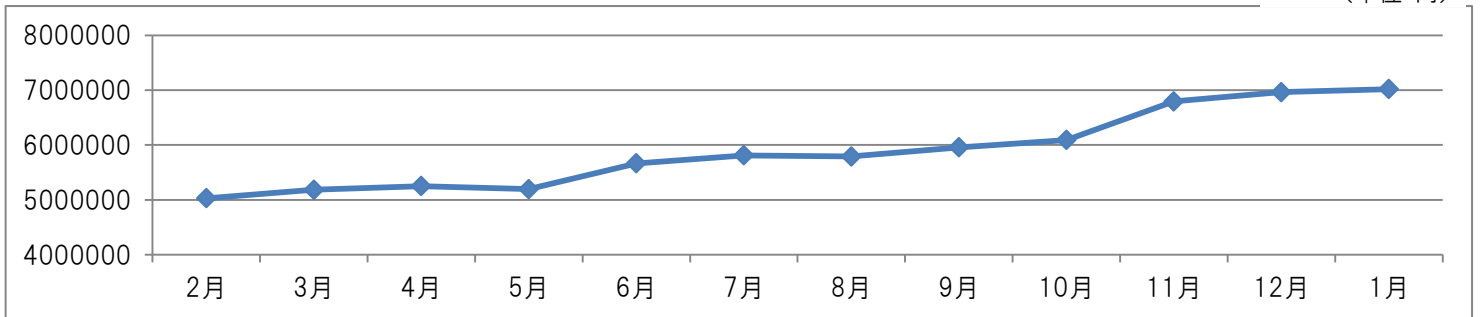
② 年間推移

(単位:円)



③ 移動年計

(単位:円)



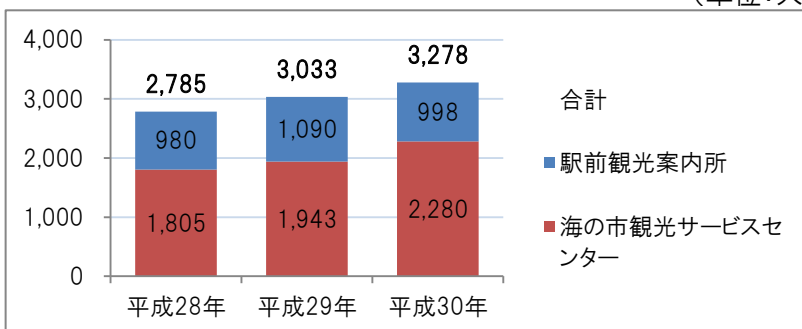
・前年同月と比較すると、語り部については利用人数は増加したものの金額面では微増に止まった。これは前年に比べ団体の数はほとんど変化がないなかで、1団体当たりの人数が増加したことが要因である。ちよいのぞきについては企画そのものの数が少なく人数が前年比65%となったが、金額は81%に止まった。これは単価の高いプログラムへの視察が3件あったことが大きい。

5. 観光案内所

(1) 利用人数(同月前年比)

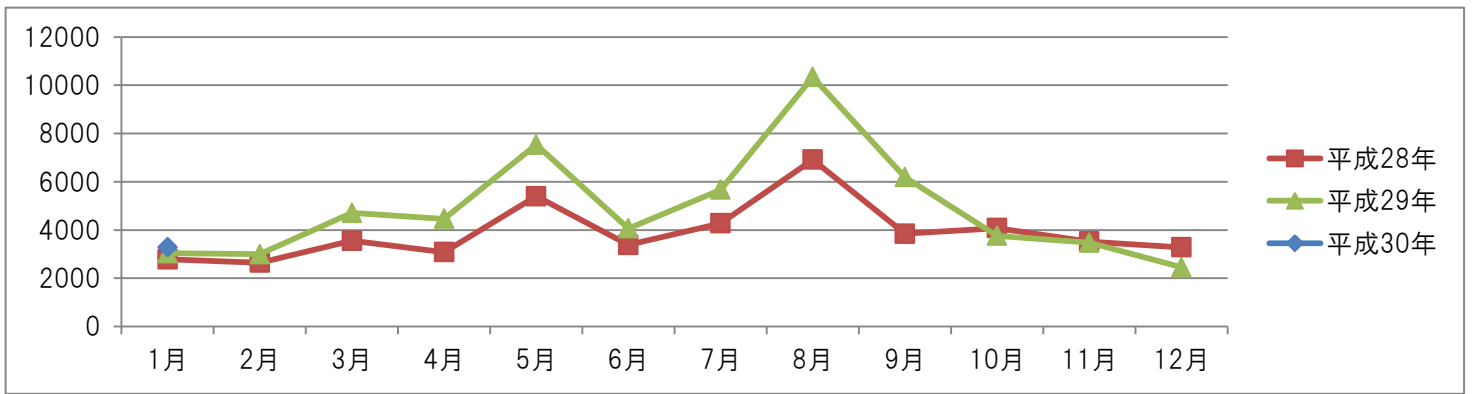
(単位:人)

(単位:人)



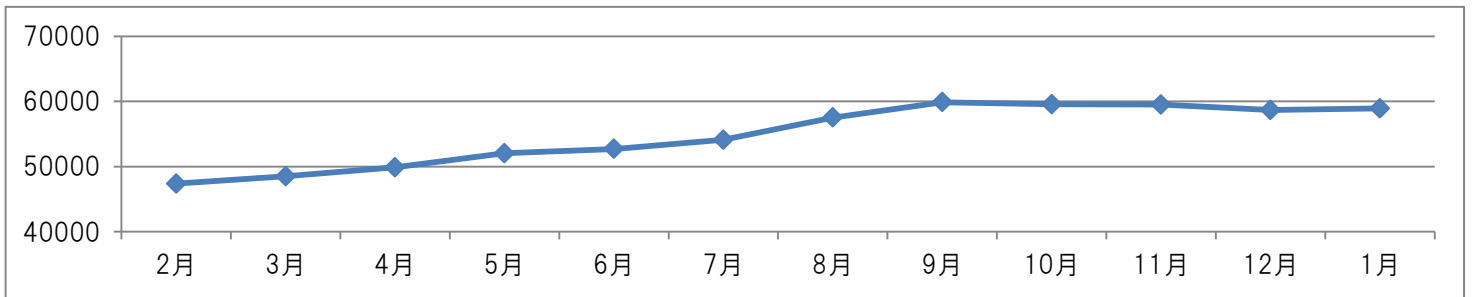
観光案内所	平成 28 年 (1月)	平成 29 年 (1月)	平成 30 年 (1月)
駅前観光案内所	980	1,090	998
海の市観光サービスセンター	1,805	1,943	2,280
総計	2,785	3,033	3,278

(2) 同年間推移



(3) 移動年計

(単位:人)



前年同月と比較すると、駅前案内所が91%、海の市観光サービスセンターが117%となった。海の市観光サービスセンターは3連休の中日である7日(日)の人数が多かった。